

令和6年度自衛隊記念日レセプション大使挨拶

御出席の皆様、本日皆様を大使公邸にお迎えし、自衛隊記念日レセプションを開催できることを誠に喜ばしく思っております。また、この場を借りて、リオ・グランデ・ド・スルの被災者に哀悼の意を示します。日本は緊急支援物資として5月に75台の浄水器をRS州に送りましたが、ブラジルからの輸送ではブラジル空軍の多大な支援を得ました。改めて、ブラジル空軍にお礼も申し上げます。日本大使館としては、引き続きRS州に可能な支援を行っていく所存です。

自衛隊記念日レセプションは、日本と伯や諸外国間の防衛・安全保障分野の関係強化を願って行います。ここに（VIP最高位の人名を呼称）を初めとする多数の方々を招待できたことを心から感謝しつつ、公邸料理人が腕を振るった本場の日本料理と最高級の日本酒で皆様を歓迎いたします。

皆様もご存じの通り、現在の世界の情勢と同様、我が国を取り巻く安全保障環境は一層厳しさを増しております。このような中、わが国の安全及び地域の平和と安定、さらには国際社会全体の平和と安定及び繁栄の確保に積極的に寄与していくために、我が国政府は様々な取り組みを行っております。防衛分野の例を挙げれば、昨年12月には「防衛装備品移転三原則」の運用指針を改定するとともに、2025年3月までには新たに統合作戦司令部を新設する予定であります。その一方、力による一方的な現状変更を許容しない安全保障環境を創出していくのは一国でなしえることではなく、同盟国・同志国などとの連携が必須であります。

日本とブラジルは、長い友好の伝統を持っています。この5月には岸田首相がブラジルを訪問し、ルーラ大統領と「戦略的グローバル・パートナーシップ」の10周年を祝うとともに、自由、民主主義、法の支配、人権といった共通の価値と原則の重要性を確認しました。安保・防衛分野に関しては、ブラジルと日本の間の防衛分野における現在の協力及び交流を認識するとともに、部隊間交流、防衛装備・技術協力、防衛当局間の対話を含む防衛協力及び交流の促進を確認しました。これまで、2020年12月に伯国防大臣と我が国防衛大臣との間で署名された「防衛協力覚書」に基づき、軍レベルでの様々な防衛交流が進展しておりますが、今回の岸田総理の訪問により、両国の協力関係がさらに進むと期待しております。

こうした安保・防衛分野での関係強化に当たっての、関係者の方々の温かいご支援、ご協力に、改めて感謝申し上げます。本レセプションが日本とブラジルの絆を深めることを祈念して、私の挨拶とさせていただきます。